

## 編 集 後 記

- ◆きべりはむし第31巻第1号をお届けします。掲載予定の原稿の校正等に手間取り、発行が大変遅くなりました。数名の方からのお問い合わせをいただいたり、大変ご心配をおかけいたしました。申し訳ございません。2号合冊も検討しましたが、ページ数がかなり多くなるため、分冊とさせていただきます。次号は年度内に発行の予定です。
- ◆今年は、北日本では冷夏、西日本では日照不足、残暑と、いわゆる異常気象の一年でした。桜並木にモンクロシャチホコが大発生し、サクラの木をあっという間に丸坊主にしたため、あちこちで狂い咲きのサクラが多く見られました。ちょっとした気候の変化で生態系に乱れが出たものと思います。そのような身近な異常に気が付かれた方は、情報をお寄せください。
- ◆近藤伸一さんからは、チョウ類のトランセクト調査の結果の報告がありました。トランセクト調査は、観察地域を定点からゾーンに広げて、そこで目撃した個体をすべてカウントする方法で、いわゆる群集という概念でとらえることができます。これで、環境ごとの個体密度がよく把握できます。多い、少ないという概念をより精度の高い方法で実施したものととらえることができます。実際には、なかなかたいへんで、地道な作業に頭が下がります。
- ◆砥峰の昆虫は、昨年の特刊に本誌に掲載した「六甲山」の調査の続編です。兵庫県立人と自然の博物館と本会がタイアップして実施している事業です。当初から予想できたことですが、六甲山に比べると昆虫の種類数もデータも豊富で、原稿のボリュームも多くなったため、本号と次号の2回に分けて掲載します。
- ◆事務局では、前号でもお知らせしたとおり、兵庫県産甲虫のデータベースづくりに取りかかっています。データ集積について引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

- 
- ◆次回の「きべりはむし」の発行は2003年12月です。原稿は常時受け付けています。e-mailでも原稿を受付けていますので、気軽に御一報ください。短報はメモ程度でも結構です。

(編集担当 高島 昭)

きべりはむし 第31巻第1号

2003年11月15日発行

発行：兵庫県昆虫同好会

編集：近藤伸一・高島昭

事務局、原稿送付先：

〒671-2201 姫路市書写2542-2 高島 昭 方  
e-mail akira-takashima@mti.biglobe.ne.jp

郵便振替口座：01170-3-26646

印刷：岩峰社・東京